

もっと知りたい

武者小路実篤

読んでみよう!

君はだれに共感できる?

青春小説『友情』

本当の友情とはなんだろう?

■ストーリー

作家の卵の野島は、友人の妹で明るく活^{すぎ}な杉子^{こい}に恋をします。野島が慕^{した}う新進作家・大宮は、野島の作家活動と恋を^{おうえん}応援しますが、なかなか進展しません。

そんな中、大宮は突然ヨーロッパへ勉強をしに行ってしまう。野島は杉子に^{けっこん}結婚を申し込みますが断られ、まもなく杉子もヨーロッパ旅行に出かけました。

しばらくして大宮から、雑誌に発表した小説を見てほしいと手紙がきます。その内容とは…?



今でも手に入る新潮文庫『友情』

●読み解く4つのカギ

①卓球^{たっきゅう}の試合で

勝つのはだれ?



②海^こを越えたラブレター、

だれからだれへ?



③ベートーヴェンの

マスクの運命は?



④「君よ、仕事の上で

決闘^{けつとう}しよう」



『友情』を書いたころの実篤

作品データ

『友情』……大正8(1919)年10月、実篤34歳^{さい}のときに新聞小説として発表。

結婚^{けっこん}する人も失恋^{しつれん}する人も、若い人をはげましたくて書きました。

実篤作品の中で最もよく読まれているベストセラーですが、作家本人にはそれがとても意外だったそうです。

小説を のぞいてみよう!



野島にとつて恋とは？

彼(野島)は自分にたよるものを要求していた。自分を信じ、自分を讚美するものを要求していた。そして今や、杉子自身にその役をしてもらいたくなくなった。杉子は彼のすることを絶対に信じてくれないければならなかった。世界で野島程偉いものはないと杉子に思ってもらいたかった。…(上篇五章)

大宮、野島の恋を批評する

…「君(野島)はあんまり人がよすぎる」大宮は笑いながら云った。…
(野島)「僕の位置にいれば君はそんなあつかましいことは出来なくなる」
(大宮)「恋はあつかましくなければ出来ないものだよ」
(野島)「本当の恋はあつかましいものには出来ない」
(大宮)「ともかく恋も一種の征服だからね」…(上篇一八章)

恋する杉子の気持ち

…私(杉子)は死力を尽して運命と戦います。戦うと云うよりは運命を開こうと思います。私は静かに門のそとに立って戸の自ずとあくのを待ちたくも思いました。しかし今はその戸をたたけるだけたたきたいと思います。…(下篇三章)

大宮、野島にエールを送る

わが友よ。…自分は君を尊敬している。君は打ちくだかれれば打ちくだかれる程、偉大な人間として、起き上ってくわえることを僕は信じている。…(下篇一章)

さあ、『友情』を
読んでみませんか？

